

がん哲学学校 in 神戸

第20回メディカル・カフェ開催のご案内

お茶をのみながらゆっくりお話をしませんか？

「メディカル・カフェ」って？

メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者等、様々な方が集まって、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。「医療の隙間を埋める」ために、定期的を開催する予定です。たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

開催日 : 平成30年9月22日(土)

13時~15時30分(受付12時30分)

場所 : 神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶

13:10

講演：関西電力病院 緩和ケアセンター長

梶山 徹先生

「早期からの緩和ケア」

14:20

メディカル・カフェ

15:30 閉会の挨拶

今回は先着3組限定で梶山先生の面談(20分程度)をお受けいたします。ご希望の方は、お申込みの際にご記入ください。





【梶山 徹先生】

関西電力病院の緩和ケアセンター長を務め、心療内科部長を兼務しています。京都大学医学部大学院を修了して、医学博士号を得ました。日本緩和医療学会の緩和医療専門医を取得し、高野山大学のスピリチュアルケアコースで2年間学んだ経験を持っています。これらを活かして、京都市下京区の京都グリーンケア協会で見守りや介護福祉士、葬儀関係者向けのグリーンケアの定期講座を担当しています。また、なにお緩和ケアコンファレンスの代表世話人を務めており、500名を超える規模の緩和ケアのメーリングリストを主宰しています。



先着 50 名

締め切り：9月14日(金)

【がん哲学外来とは】

(<http://www.gantetsugaku.org/>)

がん哲学外来とは、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授が提唱する「医療の隙間を埋める」活動です。

がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会の実現を目指し、より多くのがん患者が、垣根を越えた様々な方と対話することにより、「病気であっても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添う場です。

たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

本学でのメディカル・カフェは、学生も参加しております。ご了承ください。

住吉駅南口側連絡通路から、「KiLaLa 住吉」施設内を 1F に進んでください。



国道 2 号を歩道橋で越えて、南にまっすぐ進んでください。

お申し込み先

FAX : 078-441-7837

Mail : cpec@kobepharma-u.ac.jp

9月14日(金)までにメールまたは下記に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

お電話またはメールで確認の連絡をさせていただきます。

メディカル・カフェ 参加申込書

フリガナ		
お名前		
ご住所		
ご連絡先	電話番号	()
	メールアドレス	
ご勤務先		
お知りになったきっかけ		

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町 4-19-1 TEL : 078-441-7836

主催：神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、 協賛：クラフト(株)、(株)スヴェンソン

後援：一般社団法人がん哲学外来、神戸新聞社